

山梨県中小企業家同友会 障害者雇用に関するアンケート 集計結果

実施組織: 山梨県中小企業家同友会 / 実施期間: 2019年11月19日～11月22日(正午)

アンケートの方法: 山梨県中小企業家同友会の会員(310名)にFAXまたはe.doyulにて回答を求める

【調査の目的】■実習受入企業の把握、■雇用実態の把握、■雇用企業の増減(今後定期的な調査を実施予定)

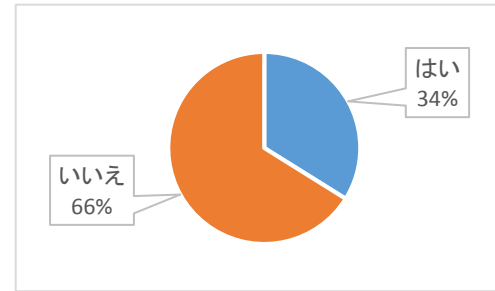
回答数: 62(310名中)

回答率: 20%

問1. 障害者の就業体験等の実習受入は可能ですか？(SA)

	回答数	%
1 はい	21	34%
2 いいえ	41	66%
	62	100%

問1 グラフ

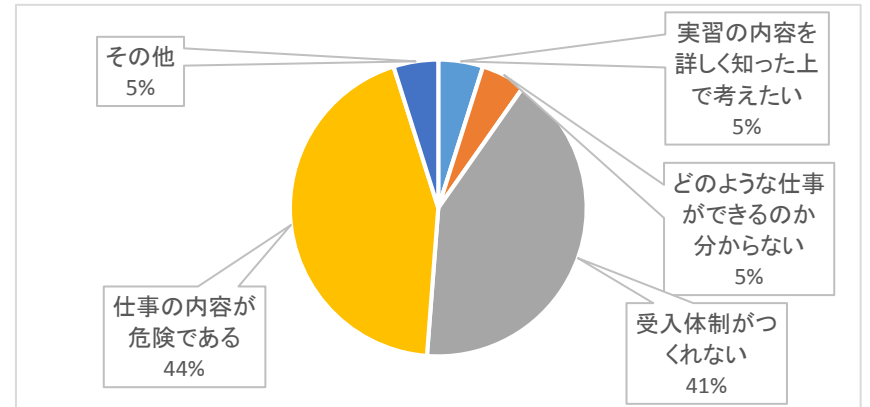


【集計者コメント】
障害者の就業体験等の受入実習について、66%が不可能と回答しており、消極的な姿勢が伺える。
理解不足から消極的と推定する。

問2. 上記「いいえ」の理由は何でしょうか？(SA) 問1. で「いいえ」の方のみ

	回答数	%
1 実習の内容を詳しく知った上で考えたい	2	5%
2 どのような仕事ができるのか分からない	2	5%
3 受入体制がつかれない	17	41%
4 仕事の内容が危険である	18	44%
5 その他	2	5%
	41	100%

問2 グラフ



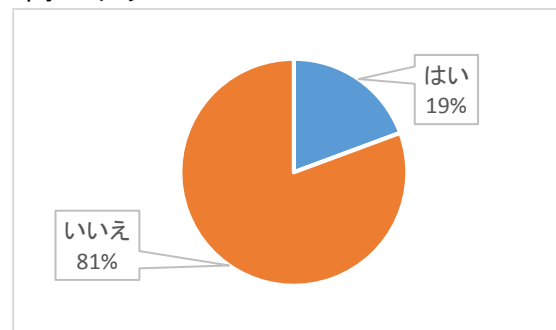
【その他】記述

・資格がない人は業務に携われない仕事だから

問3. 貴社は障害者雇用の義務のある会社(常時従業員数45.5人以上)ですか？(SA)

	回答数	%
1 はい	12	19%
2 いいえ	50	81%
	62	100%

問3 グラフ

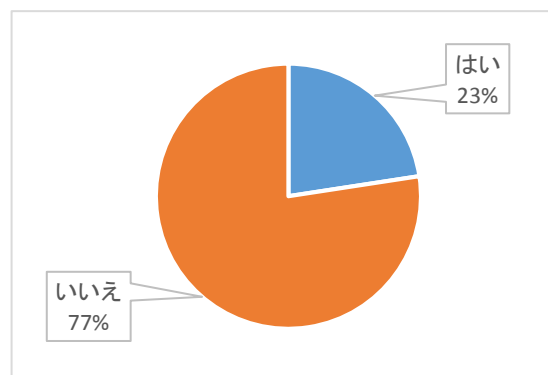


【集計者コメント】
8割が、障害者雇用の義務規定に該当しない企業。

問4. 貴社は現在、障害者を雇用していますか？(SA)【「いいえ」の方は問16. 17を回答して終了】

	回答数	%
1 はい	14	23%
2 いいえ	48	77%
	62	

問4 グラフ



【集計者コメント】
回答者の23%で障害者を雇用している。多いとみるか少ないとみるか。国の調査では、単純に「障害者を雇用しているか・していないか」というデータはない。

比較対象として、愛知同友会の同一の質問への回答結果では、436社の回答者の内、「74社が雇用している」「362社が雇用してない」と回答している。つまり、回答者の17%で障害者を雇用している。それと比べると若干上回る。

問5. 障害者の雇用形態は、一般就労ですか？ 福祉的就労ですか？(SA)【「福祉的就労」の方は問16. 17を回答して終了】

		回答数
1	一般就労(一般雇用)	14
2	福祉的就労(就労継続支援事業による雇用)	0
		14

【集計者コメント】

回答者での障害者雇用は一般就労のみ。
会員には就労継続支援事業を営む方もいる。

問6. 一般就労の社員の障害種別は何でしょうか？(MA)

		回答数
1	身体	9
2	知的	4
3	精神	4
4	発達	3
5	その他	0

【集計者コメント】

身体障害者の雇用が9と一番多い。他の障害に比べて、身体障害者の可能業務の幅が広い、もしくは障害を理解し易いといえるかもしれない。

問7. 身体障害者の社員数(一般就労のみ)(SA)

		回答数
1	1人	6
2	2人	2
3	3人	1
4	それ以上	0

問8. 知的障害の社員数(一般就労のみ)(SA)

		回答数
1	1人	1
2	2人	0
3	3人	2
4	それ以上	1(4人)

問9. 精神障害の社員数(一般就労のみ)(SA)

		回答数
1	1人	2
2	2人	2
3	3人	0
4	それ以上	0

問10. 発達障害の社員数(一般就労のみ)(SA)

		回答数
1	1人	3
2	2人	0
3	3人	0
4	それ以上	0

問11. 身体障害者の社員の平均勤続年数(一般就労のみ)(SA)

	回答数	
1	1～3年	1
2	4～6年	1
3	7～9年	2
4	10～19年	3
5	20年以上	0
6	その他	0

問12. 知的・精神・発達・その他障害者の社員の平均勤続年数(一般就労のみ)(SA)

	回答数	
1	1～3年	0
2	4～6年	1
3	7～9年	2
4	10～19年	3
5	20年以上	0
6	その他	2

【その他】
 ・1年未満
 ・就労中に障害者になった

【集計者コメント】

平均勤続年数に関しては、際立った特徴は見いだせなかった。ただ、身体障害者、知的・精神・発達障害者の平均勤続年数で、4年以上、10～19年の長期での就労者がいる。このような企業の経験を広く交流し、職業体験や雇用企業の拡充につなげたい。

問13. 身体障害者の社員の平均労働時間(一般就労のみ)(SA)

	回答数	
1	週20時間未満	2
2	週20時間以上30時間未満	1
3	週30時間以上	6
4	その他	0

【集計者コメント】

平均労働時間では、週30時間以上の回答が身体障害者で6、知的・精神・発達障害で4寄せられた。健常者の雇用体系と同一である可能性が高く、その取り組みから学び、広げていく必要がある。

問14. 知的・精神・発達・その他障害者の社員の平均労働時間(一般就労のみ)(SA)

	回答数
1 週20時間未満	0
2 週20時間以上30時間未満	4
3 週30時間以上	4
4 その他	1

問15. 障害者の仕事内容を簡単に結構ですのご記入ください。(例:伝票仕訳、データ入力、NC旋盤作業)(記述式 未回答許可)

身体障害:成形作業
身体障害:一般事務、機械加工
身体障害:図面電子化の補助役
身体障害:プラント作業
身体障害:簡単な選別作業
身体障害:環境整備(庭の掃除など)
身体障害:守衛業務、公金収納とりまとめ、パソコン入力
身体障害:癒し処でのリラクゼーションマッサージ
身体障害:交通誘導警備
知的障害:一般軽作業
知的障害者:現場作業員(選別作業/機械作業他)
知的障害:仕込み(菓子)
精神障害:伝票処理、データ入力
精神障害:パソコン入力
発達障害:介護業務
知的と精神障害:浴場および施設内全体の清掃、洗濯やシャンプー類のボトル詰め替え、食事処の皿洗いなど

【集計者コメント】

障害の種別ごとに回答を求めた。
多様に活躍できることが分かる。

愛知同友会ではアンケート調査を基に、さらに豊富な仕事内容が障害種別ごとにまとめられており、その資料がある。
「できる仕事がないから障害者を雇えない」
「危険な現場だから雇えない」という企業にとって大変参考になるものである。

問16. 障害者雇用や障害者を取り巻く諸問題、各種支援政策などご自由にお感じになることをご記入ください。(記述式 未回答許可)

- 1 健常者でも老後2000万円必要と言われているような時代に、老後の貯えに備えることが難しいと感じる。
生活保護と障害年金に頼るのみの障害者もまだまだこの国では多いと感じる。
- 2 障害の固定概念を捨てて、実際に作業をさせる機会を与えてほしい。その後に障害者が判断すれば良いと思う。
助成金制度を活用していますが、手続きに時間がかかりすぎている。小さい企業は一人雇うにもお金のやり繰りが非常に大事になるため、スピード感のある対応を願いたい。
- 3 障害者の雇用だけでなく、障害者を雇用している会社へ業務を発注できる仕組みがあればと思います。
- 4 会社のイメージが合致しない。また、仕事も対応できる仕事が少ない。
- 5 健常者と同じレベルで職務ができるステージはあると思う。そこでは同等の対価を支払うべきと考えている。
求人を出しても障害者の方の応募が無いのはなぜだろうと思う。
- 6 残念ながら当社では、今現在受け入れる体制が出来ませんが、地域社会の一員として出来ることからやっていきたいと考えます。
もし出来ることをございましたら教えてください。
- 7 障害者雇用に対する支援政策がよく分からないので、雇用促進に並行して内容をもっと教示して欲しい。
- 8 山梨県は交通インフラが不十分であり、通勤の問題で雇用に至らないケースがある。
- 9 建設業の中に障害者の雇用は今後必要であると思うが今は現実的でないと思う。
- 10 業種により雇用するうえで仕事内容が異なるため、雇い入れしにくい状況がある。
- 11 受け入れる企業のスキル向上が必要
- 12 一般就労の勤務になってからは、自覚も芽生え休みも、遅刻も少なく、周りのスタッフともよい関係です。
- 13 企業側としては障害の種類や程度によって何が出来るのか分かりづらく、また障害者にとっては企業から出来ない事の要求があるのではないかという不安があるのだと思います。この差を埋める仕組みが確立していくとインクルーシブな環境が整っていくのではないかと思います。
- 14 弊社は通信設備工事業であり、現場では危険を伴う場所もあること。また単純作業でない工程も多く、安全確保、
またフォローする体制の受入のイメージが湧いてこないのが現状です。
- 15 弊社では、特殊なケースを除き障害者の方々の御旅行のお手伝いをさせていただいております。先日、お手伝いをさせていただいた『聴覚障害』をお持ちの方々は、自由に旅行を楽しむ事がむずかしいとの事で参加された大半の方が、年に一回のその旅行を楽しみにしておられる様でした。
諸所の社会的状況が変化したとはいえ、障害を持つ方たちには、まだまだ生活しづらい様です。
当社での就業支援は難しいですが、障害を持つ方々が一時でも楽しい時間を過ごすことが出来るようお手伝いが出来ればと思っております。
- 16 問題が起きた際のバックアップが欲しいと感じることがあります
- 17 これからの日本の産業界が真剣に取り組むべき課題だと考えます。しかし我々のような中小の運送業では倉庫内作業が無ければ、トラックのハンドルを握る業務は危険で障害者雇用は取り組みたくとも困難です。
知識が無いので判りませんが取り組んでいる企業には助成金が必要だと思います。
- 18 障害の状況に職場を適応させるための補助金などが充実するとよい。
- 19 障がい者雇用については前向きに取り組みたいという思いはありますが、スロープ、トイレ、エレベーター等の設備面で向き合えない事情もあります。
- 20 雇いたいのが何を整備すれば良いのかわからない。

問17. 国や地方自治体の施策に対するご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。(記述式 未回答許可)

- 1 「バリアフリー宣言」というものもありますので、登録事業者の増加や県民への周知ももっと広めていけるとよいのではないかと思います。
- 2 まだまだ障害者に対する社会の偏見差別が強いと感じる。企業が障害者をもっと雇用したい、大切にしたいと思う政策を期待したい。
- 3 障害者(被雇用者)と事業者(雇用主)の2者関係だけでなく、第三者を介在させた三方一両得のようなビジネスモデルを作れたらいいと思います。
- 4 熟知していないので何とも言えません。
- 5 税金の使い方を含めて、様々な分野での日本の未来予想図を国民が理解できるように、また前向きな姿勢で取り組めるように描いてほしいです。
- 6 ハローワーク以外の雇用情報が欲しい。
- 7 質問の趣旨とは違うかもしれませんが・・・健常者の方々に気兼ねなく、また、障害を持つ方々が集うことの出来る様な施設があってもいいともいます。
高齢者で障害を持つ方々は、デイサービスなどに参加しても周りの方々と馴染む事が出来ず、引きこもりがちになってしまう様です。
手足の不自由ならサポート出来る体制は多いようですが、聴覚・視覚等の障害を持つ方々に対しての上記の様なサポートは少ないとの事です。
- 8 今後も積極的に取り組んでいる企業の支援を続けて貰いたいと思います。
- 9 顔の見える行政サービスを希望します。
- 10 補助金を充実して欲しい